

あおげば尊し (2005)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 82分

初公開日 2006/01/21

公開情報 テンプリント＝スローラーナー

【キャッチコピー】

父は黙ったまま、
私たちに最後の授業をする

【解説】

「病院で死ぬということ」「トニー滝谷」の市川準監督が、現代における“死”の問題を真摯に見つめたドラマ。末期ガンで余命幾ばくもない父の最期を自宅で看取ることにした一家が抱える迷いや葛藤を等身大で描き出す。原作は重松清の同名小説。主演はバラエティ番組などで活躍するテリー伊藤、共演に薬師丸ひろ子。

小学校の教師をする光一は、末期のガンで入院していた父が余命3ヶ月であると主治医から告げられる。そこで光一たち家族は、父に残された日々を自宅で介護することに決める。一方その頃、光一の受け持つ5年生のクラスではネットの死体写真を見たり斎場に忍び込んだりと死体に強い興味を抱く生徒がいた。死の意味をどうやって生徒たちに教えればいいのか悩む光一。やがて光一は、同じく教師をしていた父に、思い切った提案をするのだった。

【クレジット】

監督	市川準	
製作	松田眞美子	
プロデューサー	鍋島壽夫	
原作	重松清	『あおげば尊し』（新潮社刊『卒業』より）
脚本	市川準	
撮影	小林達比古	
美術	山口修	
編集	三條知生	
音楽	岩代太郎	
照明	中須岳士	
録音	橋本泰夫	
装飾	平井浩一	
スクリーンライター	石山久美子	
監督補	早川喜貴	
出演	テリー伊藤	Terry Ito
	薬師丸ひろ子	
	絵沢萌子	
	大倉孝二	
	入江雅人	
	麻生美代子	

